

5-1 説明

対策しないと、
全部壊してやるん
だドーン！！



震度と揺れ等の状況

0



【震度0】
人は揺れを感じない。

1



【震度1】
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

2



【震度2】
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

3



【震度3】
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

4



震度4

- ◎ほとんどの人が驚く。
- ◎電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- ◎座りの悪い置物が倒れることがある。

5弱



震度5

- ◎大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ◎棚にある食器類や本が落ちることがある。
- ◎固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強

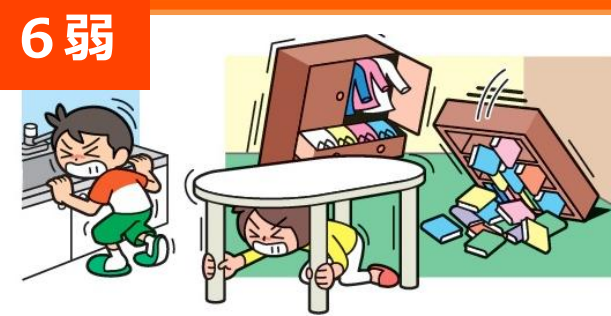


震度5強

- ◎物につかまらなと歩くことが難しい。
- ◎棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- ◎固定していない家具が倒れることがある。
- ◎補強されていないブロック塀が崩れることがある。



6弱



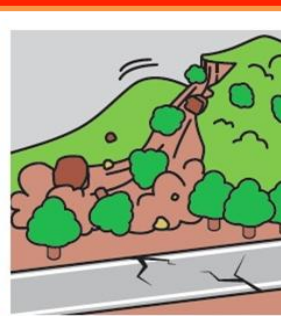
耐震性が低い建物

震度6弱

- ◎立っていることが困難になる。
- ◎固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ◎壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ◎耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



6強



耐震性が低い建物

震度6強

- ◎はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ◎固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- ◎耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- ◎大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



7



耐震性が高い建物

耐震性が低い建物

震度7

- ◎耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに増える。
- ◎耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- ◎耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。



－地震の震度と揺れ等の状況(概要)－
(出典：気象庁)

自分の地域の震度と揺れの状況を見て、
家やブロック塀の耐震化、家具の固定に
取り組みましょう。